

# とんがりやね

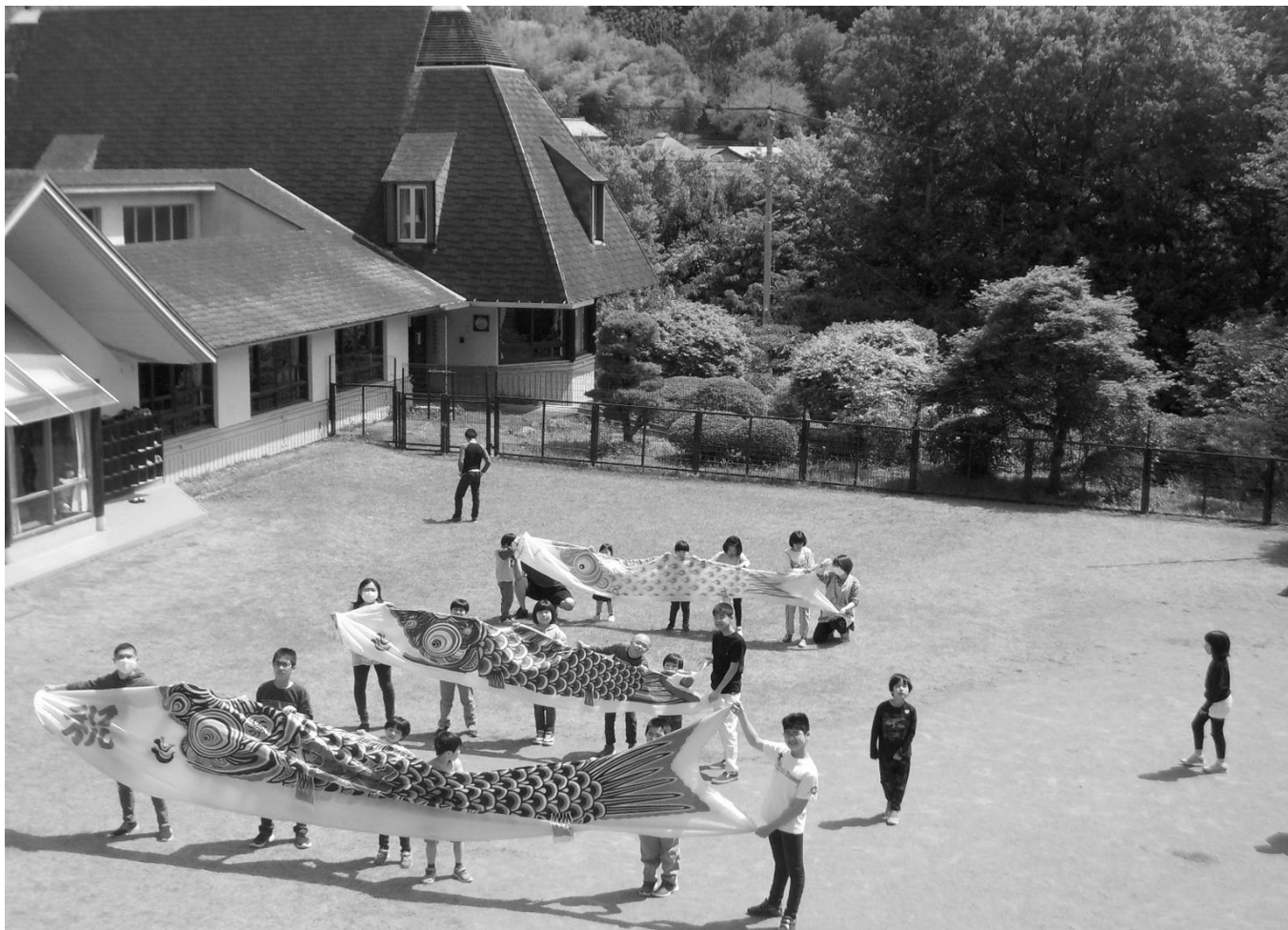
2021. 5. 1

第179号

<http://wataraseyogoen.jp/>

発行：社会福祉法人桐の実会 わたらせ養護園

〒376-0131 群馬県桐生市新里町奥沢59-1 TEL 0277-74-0343 FAX 0277-74-0722



## 「創立55周年に向かって」

施設長 太田徹

昨年3月に群馬県で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されてから、子ども、職員の頑張りにより一人も感染者を出すことなく、新年度を迎えることができました。ここまで来られたのも当園を応援して下さる皆様のご支援、ご協力があったからです。本当に感謝しています。3月23日に桐生市、みどり市は警戒度が2に引き下げられました。東京や他県では感染者数の下げ止まりや再び増加に転じ、第4波が来たと言われていた地域もあります。今後、ワクチン接種や治療薬が開発されて新型コロナウイルス感染症が終息することを願うばかりです。

コロナ禍で様々な出張や行事が中止になった代わりに2つの新たな試みを実施できました。1つはZOOMを活用し、リモートで関係機関と連携を図ったことです。リモートは移動時間の削減、感染対策などメリットが高いので今後も実施していきたいです。

2つ目は職員からの思いを聞いたことです。話をじっくり聞く中で私たちは子どもとの関わり方だけでなく、社会人としての基本姿勢はもちろんのこと、快適な生活が送れるような環境づくり、チームワークへの意識、日常生活でも感染対策を心掛けているか等、様々なスキルが求められることを感じました。職員の思いをしっかりと受け止め、改めて職員の基本姿勢について確認しました。

今年は11月1日で創立55周年を迎えますので、創立者の岸直枝先生の思いを振り返りたいと思います。直枝先生は往診時、障害を持った女の子が家の中に閉じ込められていたのを不憫に感じ、天気の良い日にたくさん外で遊ばせてあげたいという思いで昭和41年に当園を作られました。現在、私たちが子どもに関わることができるのも直枝先生を始め、初代施設長の清水俊衣先生を中心に先輩方が全力で子どもたちを守ってきたからです。その歴史を胸に刻み、伝統を重んじつつ、時代に合わせた柔軟な施設運営に努めて参ります。まずは55周年を目標において令和3年度をスタートしていきます。

## 職員研修会

4月1日、令和3年度の職員研修が行われました。今年度は保育士2名が新たに加わり、計27名で新年度を迎えました。開会式はプレイルームで子ども達と一緒に園歌を歌い、わたらせ体操をしました。その後、会議室に移動し、野口理事長より辞令交付を受け、運営方針の確認、医療分野のテストが行われ、今年度がスタートしました。



ピアノ伴奏に合わせ園歌・わたらせ体操



野口理事長より辞令交付

## コロナ感染症対策訓練

新型コロナウイルス感染症がどんどん身近なものになり、園の対策や備蓄品もいよいよ本格的になってきました。そこで、より実践に近い状況での訓練を管理部・調理部・指導部の全体で行うことになりました。職員は通院役・受け入れ役に分かれ、子ども達にも感染児役として協力してもらいました。初めて身に付けるガウンやフェイスシールドに苦戦しながらも何とか訓練を終えました。そこで明らかになった沢山の課題を一つひとつ潰して次の訓練に活かします。頭では分かっているけど、実際に動いてみると上手くいかないことばかりで、訓練を終えるごとに改善点や疑問点が出てきます。何度やっても《完璧》にはなりません。不安は必ず残ります。しかし、だからこそ訓練を繰り返す意義があるのだと考えています。訓練ではない「本番」がないことを祈りつつ、“もしも”の動きを完璧に近づけるよう、職員一同が試行錯誤しています。



医療用ガウン  
フェイスシールド  
着用

感染児(役)の  
食事支援の様子



## 令和3年度園内研修

今年度は、職員の資質向上の取り組みとして、解法を調べ、解答を導き出す過程を通して基礎的な力を養い、適切な情報の収集・整理する力の向上に繋がります。

## 〈新任職員挨拶〉

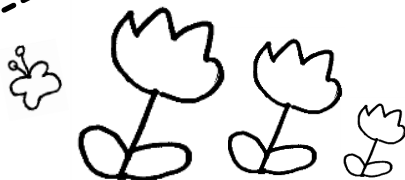
今年度から保育士としてお世話になっております、羽鳥です。子ども達と過ごす中でその笑顔から日々たくさんの元気とパワーをもらっています。パワフルな子ども達に負けないよう、明るく元気に一日一日を過ごしていきたいと思っております。まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることもたくさんあると思いますが、子ども達と共に私自身も成長していけるよう精一杯頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

保育士 羽鳥 菜月さん



今年度から保育士として勤めさせていただいております、山本です。何事も常にひたむきな姿勢を忘れずに、日々子どもたちと向き合っていきたいと考えております。私自身が子どもたちから多くの事を学び、成長することができる環境です。様々な角度から働きかけができたと思います。まだまだ慣れない点が多く、ご迷惑をおかけすると思いますが精一杯努力しますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

保育士 山本 澪奈さん



〈児童作品〉

## 退職者挨拶

子ども達の「おはよう」「こんにちは」の言葉から一日が始まり、キラキラした笑顔で元気よく駆け寄ってきてくれることが当たり前だったので、もうそれが無いと思うと少し寂しいです。たくさんの子ども達に出逢い、毎日その笑顔に癒されて一日があっという間に過ぎていきました。子ども達と真剣に向き合うことは楽しいことだけでなく、時には苦戦することもありました。子ども達の成長を身近で感じ、私自身も一緒に成長することができました。これも共に過ごしてきた子ども達、職員の皆様をはじめ、たくさんの方に支えられていたからだと思い、深く感謝しております。陰ながら皆様の幸せを願っております。大変お世話になりました。



児童指導員 落合 しおりさん  
(H25. 11~R3. 3)

子ども達の成長を近くで見守り、共に過ごした日々は笑顔で溢れ、とても充実していました。時には気持ちがすれ違い、子ども達への支援の難しさに悩むこともありましたが、それでも4年間全力で向き合い、進み続けることができたのは、職員の皆様の素敵なアドバイスや、子ども達のキラキラした笑顔があったからだと思っております。たくさんの方に支えられ、貴重な体験ができたこと、自分自身も成長させていただけたこと、大変感謝しております。マスク越しでのお別れになってしまっていますが、子ども達の可愛い笑顔は忘れません。この手で子ども達を抱きしめてあげることができませんが、離れた場所から皆様の幸せを願っております。



保育士 柏原 彩加さん  
(H29. 4~R3. 3)

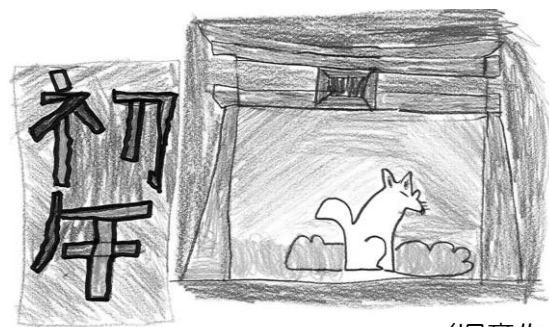
# 福は内! 鬼は外!

せつぶん

〈児童作品〉

今年の節分は2月2日。2月3日でないのは、37年ぶりになります。職員が節分にまつわる絵本の読み聞かせをしました。「鬼のパンツ」を大きな声で歌った後は、いよいよ豆まきです。「鬼は外! 福は内!」と言いながら元気よく豆まきを行っていました。真剣な表情で「鬼をやっつけてやる!」と話している子ども達を見て、逞しく感じました。

夕食の時には、豆をイメージしたたまごボーロを美味しそうに食べていました。

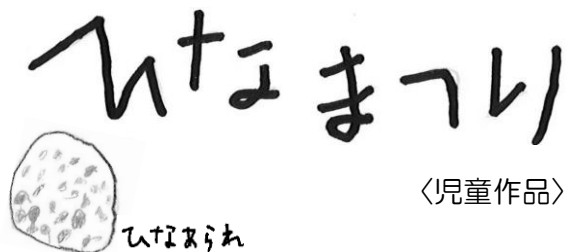


〈児童作品〉



2月3日に、子ども達と一緒に裏山にある稲荷神社へお参りに行きました。油揚げなどをお供えて、真剣な表情で「元気に過ごすことができますように」とお祈りをしてくれたようです。

園舎に戻り、初午についてのクイズを行いました。お昼にはいなり寿司が出ました。



〈児童作品〉

3月3日はひな祭りのお祝いをしました。おあつまりでは、絵本を読んで歌を歌いました。

主役の女の子たちは、おあつまるの後にお雛様の前で写真を撮りました。「私が一番かわいいよ!」と満面の笑みです。夕食のデザートにはカラフルなゼリーがでて、とっても嬉しそうでした。



〈児童作品〉

## 幼児さん達の様子



学童児が学校へ行っている間、幼児部の子ども達はお勉強をしたり、園庭へ出て遊んだりしています。元気いっぱい遊ぶ子ども達。砂場でお山作り、穴掘り。また、トゲトゲのボールを使った感覚遊び、サッカー、フェンスや壁に向かって投げるなど、ボール遊びも楽しんでいます。



コロナ禍により外出が難しい時なので、マスクをつける練習を行いました。幼児部の子ども達はマスクをする機会があまりないので、興味津々です。「似合うかな？」と言いながら、得意げな表情をしていました。



3月22日  
 幼児部修了式

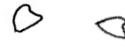


今年度は1名の児童が幼児部を修了しました。皆の前で背筋をピシッと伸ばして修了証書を受け取る姿はお兄さんそのもの。

小学生として新しい学校生活を迎え、どのように過ごしていくのか、楽しみです。

3月24日  
 卒業式

〈児童作品〉



小学部6名、中学部3名の児童が卒業証書をいただきました。卒業生全員が証書を立派に受け取り、その姿は自信に満ち溢れていました。一つ、またひとつと成長していく姿を見守ってまいります。

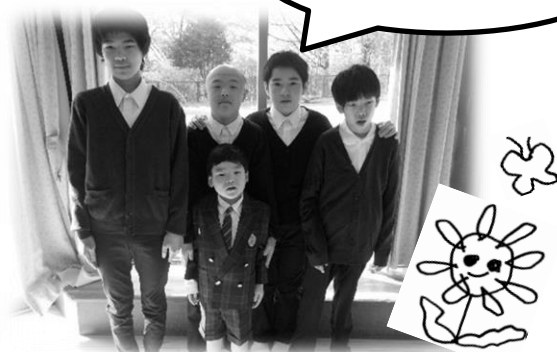
4月7日  
 入学式



〈児童作品〉



お勉強頑張るぞ！  
 応援してください！



今年の春から小学部1名、中学部4名が新一年生となりました。緊張した面持ちの子ども達でしたが「かっいいいよ！」と声を掛けられると、にんまりとまんざらでもない表情を浮かべ、とっても嬉しそうにしていました。

4月からは新しい生活がはじまるとともに、色々な“初めて”がてんこ盛りです。たくさんのお話を学び、吸収し、成長していく新入生のこれからは、楽しみでなりません。



〈児童作品〉

## しゃぼんだまふわり

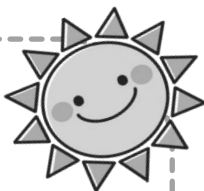
### 「キラキラの春」

児童指導員 柿沼 佳奈子

新型コロナウイルス感染防止のための自粛ムードの中、2度目の春がやってきました。相変わらず子ども達には公園やショッピングモールへの外出は我慢してもらっていますが「そんなこと関係ない!」というように、毎日を全力で過ごしてくれています。子ども達には、申し訳なささとありがたさでいっぱいです。

段々と暖かくなってきて「もう掛け布団いらねえね」「半袖いつ出すの?」と声を掛けられることが多くなってきました。しかし、朝晩は冷え込むので「いやいや、半袖はまだ早いよ」と答えている後ろを半袖の男性職員が通りかかり「でも〇〇さんは半袖だよ!」と言われ、職員同士で「…なんかごめん」「いえいえ…」となる場面もありました。ポカポカの園庭での過ごし方はそれぞれ個性が出ていて、地面に寝転び芝生だらけになっている子、砂場でのんびりおままごとをしている子、一心不乱にブランコを漕いでいる子、音楽に合わせてダンスをする子と様々です。また、春眠暁を覚えず…といった具合に、園舎内でパタリと倒れ眠っている子もいます。そんな中、落ちてくる桜の花びらをキャッチしようと目をキラキラさせて空を見上げている子ども達は、私達職員にとって春の風物詩の一つとなっています。まるで狙ったかのように頭の上のぺんに花びらを乗せて「取れないや〜」と笑う姿には思わずキュンとしてしまいます。

新しい環境に胸を弾ませる、好奇心でいっぱいな子ども達からエネルギーを分けてもらいつつ、わたらせ養護園の令和3年度がスタートしました。元気いっぱいのままゴールまで駆け抜けていきますので、あたたかく見守っていただきたいと思います。



## リモート研修

### 1月

28 令和2年度障害者虐待防止権利擁護研修（柿田）  
（一般職員コース）

29 令和2年度施設長部会（太田）

### 2月

1 令和2年度障害者虐待防止権利擁護研修（森村）  
（一般職員コース）

2 令和2年度障害者虐待防止権利擁護研修（長谷川）  
（管理者・虐待防止マネージャー・サービス管理責任者コース）

### 3月

1 令和2年度福祉施設等チームワーク対象研修（柿沼）

10 令和2年度事務部会（太田、久保田）

## ～リモート研修に参加して～

リモート研修は、リラックスした環境で参加できるということもあり、自分の意見を発言しやすかったです。また、画面越しなので参加者を一人ひとり見ることができました。

長谷川 綾子

「リモート研修でのグループワークってどんな感じ?」と不安に思っていました。時間内に結論を出さないと終了になってしまうこともあり、顔を合わせて話すよりテンポよく話し合いが進んだように感じました。初めこそ緊張しましたが、「いつもの場所」に居ながら研修が受けられることに安心感もありました。あまり行かない場所、初めて会う大勢の人たちに囲まれる緊張感のある研修も良いですが、何となくストレスを感じてしまうことも多かったように思います。交通事故や思わぬハプニングのリスクも少ないことを考えると、たくさんメリットがあると感じました。

柿沼 佳奈子

今回、虐待防止についての研修をリモートで受けさせていただきました。他施設の職員の方々とグループワークで話し合い、利用者への支援について沢山学ぶことができました。私自身、リモート研修は初めてでしたが、離れた場所でも円滑にグループワークを進めることができ、とても利便性が高いと感じました。

森村 比奈

虐待防止についてのリモート研修に参加をしました。発言者や参加者一人ひとりの顔や表情などが間近で見ることが出来て、グループワークなどがしやすく、現地や会場に出向く必要がない為参加しやすかったです。また機会があれば参加させていただきたいと思いました。

柿田 圭介





## わたらせ養護園後援会だより



令和2年度も皆様よりあたたかいご支援をいただき、わたらせ養護園に大きな援助をすることができましたこと、心より感謝申し上げます。

昨年度の会員状況を報告します。継続会員の方189名、新会員の方7名、復活会員の方15名、増額会員の方7名でした。ありがとうございました。令和3年度を迎えましたが、新型コロナウイルス感染の拡大が収まらず、まだまだ気の抜けない緊張の日々を過ごしています。昨年度はほとんどの行事が縮小や中止となりましたが、今も変わらぬ状況の中、感染症対策を今一度確認し、子ども達が元気に楽しく生活できるよう創意工夫し取り組んでいきたいと思っております。

また、皆様から届く振替用紙の通信欄のお便りに職員一同励まされ楽しみにしております。本年度も皆様の情報交換の場として、又皆様の日常の様子などお便りお待ちしております。

(後援会事務局)

後援会の加入は年間を通じて受け付けています。事務局迄ご連絡下さい。

会費・特別会費1年1口 10,000円

個人会費1年1口 1,000円(できましたら2口以上お願いします。)

事務局 〒376-0131 桐生市新里町奥沢59-1 わたらせ養護園内

わたらせ養護園後援会 TEL 0277-74-0343

### ボランティア

団体 縫製 八の会さん(2/16・3/23)

### 実習

#### 新規採用職員実習

羽鳥 菜月さん(3/18~3/25)

山本 滯奈さん(3/18~3/25)



1年を通してシルバー人材センターから派遣された方に、当園敷地内の草刈りや木の剪定等の環境整備をしていただいています。いつも元気に作業されているので、私たち職員も元気をいただいています。

## ありがとうございます

(令和3年1月1日~令和3年4月30日現在)

### ご寄付(敬称略、順不同)

岸泰宏(東京都) 岸厚次(千葉県) 寺田道子  
DreamVoices、吉田美恵子(桐生市)

### ご寄贈(敬称略、順不同)

五味洸勇一(栃木県) カーブス(前橋市)  
株式会社原田ガトーフェスタハラダ(高崎市)  
須藤亘(伊勢崎市) 田村友莉香(邑楽郡)  
鈴木雅也、浄運寺、諏訪歯科医院(桐生市)  
松崎靖、小林米穀店、大磯敦子  
大間マライオンズクラブ(みどり市)

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症の流行から、もうすぐ1年半が経とうとしています。子ども達は、感染症対策にすっかり慣れ、日々の生活の中に上手に取り込んで、毎日元気いっぱい過ごしてくれています。ドライブや園庭遊び等、出来ることが限られている中で、子ども達の笑顔を絶やさぬよう、一瞬一瞬を大切にしていきたいです。

